



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

CHUBU

中部部報

2015. 7. 1～2016. 6. 31

第1号

- 国際会長主題 “Mission with Faith”
信念のあるミッション Wichian Boonmapaom (タイ)
- アジア会長主題 “Through Love, Serve”
愛をもって奉仕をしよう Edward K. W Ong (シンガポール)
- 西日本区理事主題 「あなたならできる! きっとできる!」
遠藤通寛 (大阪泉北クラブ)
- 中部部長主題 「踏み出そう 次の一歩のための今の一歩を」
荒川恭次 (名古屋グランパスクラブ)



新年度をスタートするにあたり



大西直前部長より中部部旗を引き継ぎました



中部部長
荒川 恭次
(名古屋グランパス)

1. 部長主題

「踏み出そう 次の一步のための今の一步を」

2. 活動方針

- (1) クラブの歴史を振り返り、3年先のクラブの姿を計画しよう。そしてその一步を踏み出そう
- (2) ひとりひとりが各事業活動を理解し、自分を動機づけよう
- (3) そしてEMC活動を真剣に取り組もう
- (4) なんとってワイズライフを楽しもう。アジア大会に参加しよう

「現実を受け止めよう」

中部には1947年7月設立の金沢クラブと同年8月設立の名古屋クラブという共に大阪クラブを親に持つワイズ中部の起点となる2クラブがあります。

日本海側（金沢市）と太平洋側（名古屋市）から日本のお腹を両側から挟むような位置関係にあり、時間の流れと共に、そこを母・祖母とした9クラブが生まれて、現在は6クラブが石川県、愛知県、三重県に点在しています。最盛期には200名を超えるワイズメンが在籍していたと記憶しますが、最新の半年報を集計すると、99名という数字となりました。二桁突入です。私がワイズ入会后これまでに記憶するだけでも3クラブが消滅しています。

この現実をしっかりと受け止めることからこの一年が始まりました。さあ一年後はどう変化していることでしょうか。そしてその先は・・・

「踏み出した一步」

各クラブの活動は着実に地道に執り行われていると思います。そこにワイズ外のゲストは参加されているでしょうか。魅力ある人を引き付ける卓話・プログラムはワイズのみならず一般の人々にも魅力です。クラブの門戸を開けてお迎えください。

魅力を伝えるそのための広報は工夫が必要です。ブリテンのみならず、Facebook、口伝え、mail等ツールは色々あります。まずは一步踏み出して、みなさんに情報を伝えてください。

魅力あるクラブには人が集まります。自分の求める何かがあるからです。そこには交流が生まれ学習があり、自己研鑽によるレベルアップの喜びが待っています。そして友人が増えます。

これからの理想のワイズメンズクラブを想定すると、年代を超えた厚い交流は、若年層には熟年層の豊富な経験知識を吸収して人生のグレードアップを与え、熟年層には積み重ねた経験知識を若年メンバーに語り我人生を振り返ることができる。日常の活動を通じて相互学習を行い、相互進化を図る。という理想が見えてきます。理想をビジョンにして、そこに向かうには何が課題なのか、どう進めばいいのか考えましょう。まずは3年先を見つめましょう。

「部長活動計画」

部長の職務は、西日本区各地のクラブ、東日本区、アジア・国際の情報を西日本区を通じて中部各クラブに配信するパイプ役と考えます。クラブ訪問の際にはそうした最新情報をお届けし、クラブ活性化のお役に立てていただきたいと思います。

また、クラブ間の橋渡し役にもなり交流の活性化を図りたいと考えます。そして、部長通信を発行し、中部ホームページを活用して情報発信し、私たち（中部各クラブ）の活動を広報します。Facebookもツールとして利用します。

3. 活動計画

YMCAサービス・ユース事業

YYフォーラムの継続実施

YMCA 事業への積極的な協働参加

地域奉仕・環境事業

献金の意義を理解し目標の達成

東日本大震災復興支援の継続

EMC事業

EMC200チームの継続活動

各クラブの魅力ある例会とプログラムの充実

プラスワン例会の開催（ゲストの多数参加）

国際・交流事業

IBC・DBC交流の充実と新たな締結

FBなどWEBを活用した他地域クラブの活動応援

メキャップ活用で隣人（他地域クラブ）を知ろう

アジア大会・区大会・部会を通じて交流を拡大

メネット事業

メネットアワーの開催

メネットプロジェクトの推進



次期中部部長
川口 恵
(名古屋クラブ)

いよいよ荒川恭次中部部長期がはじまりました。大西前部長は「将来を見つめたワイズ活動！を今やってみよう！」を部長主題として、各クラブ、中部の行事に本当に精力的に参加され、またメンバー増強をめざして EMC200 推進委員会を立ち上げられました。荒川部長の主題は「踏み出そう 次の一步のために今の一步を」です。大西前部長の、今将来を見据えた活動をはじめなくては、という思いが受け継がれていると思います。荒川部長のグランパスクラブは、中部ではじめてクラブとして東北被災地訪問活動を始められ、また前期には幼稚園のできた名古屋神沢地区での一般市民向けの音楽会開催など、新しい活動に積極的に取り組んでおられ、今期も8月はSTEPのロシアの少年を迎えての例会が予定されており、今後も新しい活動があると思います。中部各ワイズメンバーがクラブ内外の興味のある活動により積極的に参加して、ワイズライフを楽しみながら、荒川部長を応援していきたいと思っています。



直前部長
大西博昭
(四日市クラブ)

先期は部長として一年間中部の皆様とワイズ活動をさせて頂きました。中部EMC200推進委員会の活動元年でしたが残念なことに1クラブ解散、そして多くのドロップが出ました。道半ばでの引継で、今期は中部 EMC200 推進委員会としてメンバーの増員をしないと負の連鎖が起こりクラブ活動にも支障が出ることもあるでしょう。

直前部長としてYサ・ユース事業・地域奉仕・環境事業・EMC事業・国際・交流事業・メネット事業に至る各行事等また各クラブの取組をフォローさせて頂きます。ユースへの支援・RBM事業の継続・東日本大震災支援・CS資金・FF資金・TOF資金への理解・EMC200推進委員会への取組支援・DBC/IBC活動・西日本区事業目標(献金等)皆さんが理解頂きご協力いただける活動を併せ

て行っていきます。

西日本区理事遠藤通寛ワイズの方針に沿い将来を見据えた素晴らしいクラブ運営そして中部部長荒川恭次ワイズの3年先のクラブの姿を計画しよう！共に将来のワイズへの思いを強く感じる活動方針です。私も今の活動をもう一度各クラブで検討して今期メンバーの増員を踏まえた活動が重要ではないでしょうか？四日市クラブも今期14名でスターしました。直近では一番少ない人数でのスタートです。阪本会長の今期の熱意は非常に強く感じられます。中部各クラブ会長・主査の皆様も一年間精力的なワイズ活動を行いましょう



中部書記
三井秀和
(名古屋グランパス)

今期、荒川中部部長が掲げられました主題「踏み出そう 次の一步のための今の一步」 これからのクラブの姿を計画しての踏み出しの一步が今からとした部長の設定した目標について常に進捗状況の把握を記録し、目標と比較することができるよう、様式等の整備させる事が書記の第一責務と考えています。

また、ワイズメンズクラブ部書記の任務として下記の要綱が規定されています。

- (a) あらゆる文章関係において部長を助けること。
- (b) 部会や部評議会の議事録を作成すること。
- (c) 区に対する定期的な報告を行うこと。
- (d) 部の役員、クラブ会長の名簿を整備すること。
- (e) 当該ワイズ年度の報告の作成について部長を助けること。
- (f) 部報編集者が別途置かれていない場合は、部報発行の為の資料を収集し、定期的に発行すること

以上についてこれから一年、中部部長のキャビネットとして実行していき目標の3年後の各クラブの理想の姿を求める部長、ともども、中部メンバー皆さまと共に、活動していきたいと思っておりますのでクラブ会長、中部事業主査各位にはこれから一年よろしくお願いたします。



中部会計
早川 正人
(名古屋グランパス)

今期、西日本区中部の会計を担当致します名古屋グランパスワイズメンズクラブ早川です。中部のワイズメンは99名となり、予算が厳しい状態ですがステップアップの為には必要なものは御応え出来るようにしたいと思います。

中部の各ワイズの皆様にはご協力をお願い致します。今期1年宜しく願いいたします。



監事
平口 哲夫
(金沢犀川クラブ)

過去7年間の経験を踏まえて

2015-2016 中部監事としてキックオフの所感を述べるに当たって、過去7年間の部長が所属するクラブの当時の会員数、その部長のもとで私が役員を担当したときの金沢犀川クラブの会員数を列記してみた。

2008-2009 谷川修部長(名古屋30名)・広報主査(金沢犀川8名)、2009-2010 大島孝三郎部長(名古屋プラザ10名)、2010-2011 澁谷洋太郎部長(金沢11名)・広報主査(金沢犀川7名)、2011-2012 長谷川和宏部長(名古屋東海22名)、2012-2013 荒川文門部長(名古屋南山9名)・次期部長(金沢犀川6名)、2013-2014 平口哲夫部長(金沢犀川6名)、2014-2015 大西博昭部長(四日市22名)・直前部長(金沢犀川6名)。

会員数が少ないクラブから部長が選ばれ、そのクラブが部会のホストを担当する場合、会員数が多いクラブに比べて負担が大きく、支障が生じやすい傾向がある。その傾向は、金沢に拠点を置くクラブの場合、クラブが集中して存在する名古屋に比べて、強く感じられる。

2015-2016 荒川恭次部長の場合、所属の名古屋グランパスの会員数は14名であり、20名以上のクラブに比べればかなり少ないが、会員数一桁のクラブよりは恵まれており、名古屋に在る他クラブや名古屋YMCAとの共同作業も行いやすいのではないかと。今期、私が属するクラブは会員数5名しかいないが、監事(中部HP管理者を兼務)として、微力ながらEMCにも貢献したい。



中部事務局長
服部 庄三
(名古屋グランパス)

2015年7月、名古屋プラザクラブの解散により8つのクラブでスタートした中部。平均年齢も年ごとに上がっています。EMC事業では新クラブ設立、会員増強、意識高揚を柱にしていますが、会員数の低迷からなかなか脱出することが出来ません。ひとつの候補として現役や卒業したリーダー達をよく挙げられます。しかし一旦社会に出た彼らにとっては生活の大部分が仕事であり、YMCAで学んだスキルをそれぞれの立場で生かしていくのに精いっぱいです。ワイズに入って奉仕活動にかかわっていく余裕はありません。まして高い会費も彼らにとって大きな障害でしょう。

YMCAへの彼らの意識を末永く留めていくにはどうしたらよいでしょう。もともとボランティア意識の高い彼らです。卒業した彼らとのコンタクトもとり続け、折に触れボランティア協力してもらえようような組織づくりをしていく必要があるでしょう。

ワイズもそれを協力支援することにより、長い目で見たワイズの仲間づくりにしていくことになるでしょう。またワイズメンズクラブ自体も基本を守りながら、区のスリム化も含め若い会員が入会しやすい仕組みづくりも模索していかなければならないと思います。

中部事務局長として部キャビネットの後方支援、事務処理などのお仕事のほか、将来のワイズ発展の第一歩を踏み出したいと思います。中部のワイズの皆様のご協力をお願いいたします。



Yサ・ユース事業主査
千賀 将
(名古屋クラブ)



(1) Yサユース事業方針

Yサユース献金目標 2,000 円/人

YYフォーラムの実施

YMCAへの積極的な支援

積極的にユース支援を行う

(2) Yサユース事業計画

2015年11月28日 YYフォーラム 場所未定
インターナショナルユースコンペケーション
(2016年台湾)へのユースの派遣推進

Yサユース献金目標額を達成できるよう、献金の
意義を理解していただく

Yサ主査をお受けするに当たり、未だ経験の浅い
私には中部の皆さまのご協力、ご鞭撻をいただきま
すようよろしくお願いいたします。また名古屋地区
においてはYMCA本館が完成しました。より積極
的なYMCAへの支援がなされますよう期待してお
ります。

地域奉仕・環境事業主査
鈴木 一良
(四日市クラブ)



HAND IN HAND
共に生きる

私たちは、地球を取り巻く様々な環境と向き合い
共存して生きています。同時に、人と人との関わり
合いの中で生きていることを忘れてはなりません。

HAND IN HANDとは、がっしりと手と
手を繋ぎあわせ、大きな繋がりをつくっていくこと
です。ワイズ活動を通し、人と自然環境との関係に
目を向け、そして人と人との友情の輪を大切に
していきたいと考えています。川上孝司事業主任が掲げ
るこの事業方針に応えるため、各クラブのご協力
をお願いします。

① CS・TOF・FF献金100%をめざしまし
よう。

CS資金・FF献金・TOF資金について理解を
深めるための広報を行い、CS資金については、

- 各クラブが有効に活用できるよう努力します
- ② YMCAが行う地域奉仕活動を理解しできる限
りの支援をします。
 - ③ ロールバックマラリア献金に対するご理解とご
協力をお願いします。
 - ④ 自然環境に関するテーマの例会、イベントをこ
の1年に一度取り組んでいただけたらと思います。

※ CS献金(お年玉年賀はがき当選切手シート)
の目標 1,500円/1人

TOF献金の目標

1,400円/1人

FF献金の目標

800円/1人

※ STEP For All

全ワイズメンを対象にした新しいプログ
ラム。他の地域で行われているTOFグロ
ーバルプロジェクト基金を利用したプロジ
ェクトに参加し、帰国後経験を共有する。



EMC事業主査
小林 滋記
(名古屋南山クラブ)

今期、荒川中部部長は「踏み出そう 次の一歩
のための今の一歩を」と主題を掲げ3年先を見据え
てクラブ発展の為に一歩を踏み出そうと唱えています。
また小野EMC主任は2022年にワイズメン
ズクラブは100周年を迎えます。100周年に向
けて2022名+100クラブを目指そうと年度目
標55名長期目標441名以上の増員の目標を掲げ
クラブ意識の高揚を図り、クラブの特性に合った増
員計画とドロップ阻止の工夫を図りその入会動機と
ドロップ動機の研究を図って、クラブの発展に繋げ
る。せっかく3名入会しても5名の退会があっては
何ともなりません。今期はまず各クラブ1名のプ
ラスを目指しましょう。その為に多くのゲスト例会に
を招いて下さい。その中から1名です。招くゲスト
が1名よりは3名、3名よりは5名、分母が大きい
ほど入会の確率は高くなります。そして今期入会が
無理でも次期に繋がります。3年先さらにその先の
100周年に向けて踏み出して下さい。

今期からEMC報告書が毎月報告に戻ります、情
報が新しいうちに皆様にフィードバックすることが
早く対応できる為です、担当者の方は締切を忘れず
に期日までに報告して下さいようお願いいたしま
す。



国際・交流事業主査
清水 淳
(金沢クラブ)

今年度、国際・交流事業主査を担当します金沢クラブの清水です。

遠藤西日本区理事は「ロースター内の DBC・IBC の空欄を埋めること」が夢だとお話されています。中井国際交流主任は「交流はワイズの醍醐味、ファン드는ユースの育成」を事業主題として掲げられています。「国際・交流事業」を進めていくことは何も特別なことではありません。他のクラブのメンバーと話をすることやリーダーに声をかけることですでもう「交流」はスタートしています。スタートした「交流」を広く深く進めていくことのお手伝いをしていきます。

事業主査と言っても自分の力だけでは何もできませんが、事業主任をはじめ豊富な経験やノウハウを持った方々の支援を仰ぐことはできます。

1年間よろしくお祈りします。

<第 19 回西日本区大会における表彰基準>

1. 新たに IBC・DBC を締結したクラブ
2. YEOP・STEP プログラムに積極的に関わったクラブ。
3. BF ファンド：クラブ 100%達成表彰（メンバー1人当たり 1,500 円を達成した全クラブ）。
4. BF ファンド達成 1 位クラブ表彰（1 人当たり金額の上位 10 クラブ）。
5. EF 献金：DPWAF や HER 等、顕著な献金に対する表彰（基準は国際会議の決定に準ずる）。
6. IBC・DBC を永年に亘り良好な関係を続けているクラブ。



メネット事業主査
松原 好伽
(名古屋グランパスクラブ)

一年のスタートのあたり

今年度の中部メネット主査を務めさせていただくことになりました。名古屋グランパスクラブメネットの松原です。

私は名古屋 Y M C A とは若い時からリーダーとし

てかわりが長く、その時の仲間が多くメンバーとなっているワイズに主人が入会しました。そして機会あるごとに例会等にメネットとして参加し、主人共々楽しいクラブライフを過ごしています。我がグランパスクラブは、元リーダーであった若者がチャーターメンバーとして発足したクラブでもあり、若いリーダーたちのキャンプなど野外活動をサポートすることも多く、私たちメネットも楽しみながらお手伝いをしています。

現在、中部では金沢クラブと名古屋クラブの 2 クラブにメネット会がありますが、障がい者施設のサポートや、メンの活動のサポートなどそれぞれに楽しく活動されています。またその他のクラブのメネットも同様にそれぞれメンの活動に協力しています。

今年度のメネット主任の事業主題は「東日本大震災を振り返り、そして今後メンと共にできることを一緒に考えましょう！」とありますが、中部では震災後、現地支援の報告会などを開催し、現地支援者の体験を少しでも共有できるようにしています。現地は昨今少しづつではありますが復興も進み、これから私たちのできることの一つは、現地を訪れ、今の現状を見て、少しでも活気づけるお手伝いすることだと思います。グランパスクラブはここ 3 年つづけて東北を訪問し、仙台 Y M C A の方々に協力をお願い、現地を案内していただきました。当然何名かのメネットも同伴いたしました。それらのつながりから、「食べて応援しよう」のスローガンのもと、西日本区大会など機会あるごとに、東北の物産を販売し、皆さんに協力していただいています。

来る 9 月 26 日に予定されている中部部会では、中部合同メネット会を開催し、今年度の事業主題の浸透と、その一環となる内容の催しで会を進めたいと考えております。一年間至らぬ点多いと思いますが、皆様のご協力のもと無事大役を務めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



金沢クラブ
会長 清水 淳

昨年度に引き続きクラブ会長を務め務めさせていただくことになりました。

この 1 年間は、2 名の新入会員を迎え、ノンドロップにより会員数は久しぶりに 10 人となりました。まだまだ少人数ではありますが、経験豊富なメンバ

一が多く安定した活動はできていると思っています。

昨年度は「Ys be ambitious!!」を主題として活動してきました。目立った成果を上げることはできませんでしたが、メンバー全員が「このままではいけない」と思っていることは例会、それ以外の場面でも感じました。

思っていること感じていることをひとつずつ実行に移していくことが今年度の目標です。

荒川中部部長の主題「踏みだそう 次の一步のため今の一步を」です。

これを受けて今年度の当クラブの会長主題は「新しい一步踏み出せば、二歩目は自然についてくる」とします。

なかなか思い切って踏み出せない「一步」ではありますが、踏み出してしまえば次の一步は考えなくてもついてくるものです。大きく一步を踏み出せば次の一步も大きくなるはずです。

金沢 YMCA は来年 70 周年を迎えます。そして金沢クラブは再来年 70 周年を迎えます。

新しい一步を未来に向けて着実に踏み出す 1 年にしたいと思います。



名古屋クラブ
会長 河部 薫

名古屋ワイズメンズクラブ会長
就任に寄せて

主題(燃やそう!!生きるちからを
∞)

名古屋クラブが69年目の軌跡の上に今、立っている事に天の導きと諸先輩方々の愛情と努力に敬意を表します、様々な困難と障害をクラブのメンバーが、ワイズ魂と協力し合う精神で乗り越えてきたんだな〜と感じ入っています、しかし高齢化とともに、世代が連なれない問題も抱えており、70周年を控え今年には特に重要な年度になると考えています。批判することは簡単です、大切なことは、明日に向けて又近い未来に向けて、どんな活動目標を掲げ、メンバーの総意、総力を傾け目標を達成し、クラブの存在意義を地域社会や友人知人に知らしめていこうとする心掛けが一番のポイントと考えています、そのことが、有意義で楽しく、生きてて良かった、ワイズに入って良かったと、より喜びが充足するワイズメンズクラブへ発展してゆくものと信じています。天を仰げば何十億光年前の光が私達に届いています、与えられた時と命はほんの刹那です、良きことと信じて行う私たちの活動を胸を張り、触れ合う知人友人、ふと知り合うひとびとに伝えていきましよう。

活動指針

- ①クラブメンバーの増強：三年後50名を目指し、今年度は35名在籍を目指しましょう。
- ②YMCA スタッフとの交流を深め、YMCA の活動をより理解し、口も出し（紳士的に）、金も出し、5体を使い、下支えをする。
- ③ワイズメンズクラブは宗教を問わない国際奉仕団体であり、他宗教を排斥するような行為、活動の端はしに周りの無宗教の人や、友人知人に目に見えない壁を作らないように配慮する。教会の延長であってはならない。
- ④年4～5回の特別例会を土日、祝日に実施し、友人知人に呼びかけ（ゲストをたくさん呼ぶ機会を作る）、時には、子供も参加できる、ファミリー感覚な楽しく充実感のある例会を開催し EMC 活動とリンクさせる。
- ⑤名古屋ワイズメンズクラブ独自のファンド活動を実践する。国際協力基金作り
※衣服のリユース活動※家に眠っている、書画、骨董品、お祝い品、装飾品等のチャリティオークションの開催。
その活動を通じて YMCA 及びワイズメンズクラブの活動への宣伝を図り、友達作りを積極的に行い多くの人々を勧誘しましょう。



名古屋東海クラブ
会長 山田 英次

「追い込まれて」

名古屋東海ワイズメンズクラブの50周年を数年後に控え、次期会長を決める頃。諸先輩について追い込まれて、「いよいよやらないかなあ」と25年ぶりのクラブ会長を引き受けました。

YMCA やワイズの活動を振り返ると、私は何をしてきたんだろうと思います。東海ワイズメンズクラブの20周年の時に入会させていただき諸先輩に甘えながら、退会も考えることもなく本日までメンバーの席がありますことに感謝しています。

さて、今後の1年間の活動については特に目新しいことは考えていませんが、クラブ例会を楽しくすることに工夫を心掛けたいと思います。もともとワイズメンズクラブは昼食会の集いから始まったと聞いています。例会以外にも食事会を呼び掛け（二次会をやろうぜ）、ゲストの紹介、新しい会員の（20～40代の）獲得、会員増強を考えたいと思います。

YMCA とワイズのメンバーの皆さん、この素晴らし

いクラブを少しでも盛り上げていきたいと思っています。この1年間ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。



名古屋南山クラブ
会長 都築正和

会長主題「地に足をつけた」
活動を！

24歳で名古屋クラブに御世話になりその後南山クラブに転籍しかし仕事の都合上退会を余儀なくされ3年前20数年ぶりに南山クラブに再入会させて頂きましたが名古屋YMCA、南山ワイズメンズクラブの変貌ぶりに驚愕したものでした。

今般、僅か3年で会長就任を仰せつかり戸惑いを感じつつも僅か9名のメンバーで何が出来るのか思い悩む日々でした、他クラブのブリテンを読んだり、活動内容を見たり聞いたりしていくうちに当クラブには他クラブにはおそらく無い絶対活動「南山ワイズ農場」の運営がありこれを中心活動としてYMCAと協力し地域社会に奉仕(GS)していきたいと思っています。5月には9名のメンバーによる手作りのピザ窯が完成し、その後バーベキュー窯も作成する予定です。南山幼稚園、神沢保育園、野外活動グループ、社会福祉施設etcの皆さんが収穫に、ピザ作りに、パン焼きに、バーベキューに興じる姿が眼にうかびます。

年間事業計画は昨年と同様ですが前会長と同様他クラブとの合同例会を積極的に持ちたいと思います。今年度は中部EMC事業主査として小林滋記君がその要職につかれます、会員増強は当クラブにとって大変重要且緊急な課題であります。小林主査、副会長を含め至急問題点を洗い出し、会員増強に結び付くプログラムを構築・展開し2桁のメンバー数を目指し現在僅か9名のクラブですが「地に足をつけた」活動をしていきたいと思っています。



四日市クラブ
会長 阪本則子

会長主題 「意志あるところに
道はある」
Where there is a will, there is
a way

副題「和来は笑いから」

Laughing strengthens the bond between us

会長方針

最近の世論調査によると、「現在の生活にどの程度満足していますか？」の質問に71%の人が「満足」「まあ満足」と回答したという事です。多くの人が充足感を感じる一方で、「もっと良くしていこう」という向上心を持つことが難しい時代です。未来への夢や期待は特にないという人も多いようです。

夢や理想は、自分の将来を幸福へと導く大切な礎です。職業、年齢、性別その他にかかわらず、目標や希望が明確であるほど、夢や理想は実現しやすくなります。

さらに、自分自身のためより、他人や社会のためである目標の方が、心はより明るく、より強くなっていきます。社会に役立つ明確な目標を掲げ、理想の未来を切り開きましょう。

そうは思うものの、私たちには思い込みがあります。過去の経験、あるいは周囲の評価によって、「自分の性格は〇〇だ」「自分の能力はこれくらいだ」と、自分勝手に枠組みを決めてしまう面があります。

人間の能力、可能性は計り知れません。「自分にできる」という前向きな意欲を持って、努力を怠らせずに、自分の可能性を広げていきましょう。今期の方針を進めていくためには土台作りが大事になってきます。

まず、ワイズの例会では、メンバーの和によって絆づくりを大切にしながらの楽しい例会を目指していきます。今期はコミュニケーションタイムを隔月で行い、メンバー一人ひとりが知り合う、いろいろな考えがある事を知る、異業種の仕事の一端を知るため参加型例会を実施していきます。知ることからコミュニケーションを強め絆づくりへと進めていきます。メンバーの絆、信頼があつてこそ今期の主題「意志あるところに道はある」を達成できるのではないのでしょうか。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



名古屋グランパスクラブ
会長 高田士嗣

会長主題 「感動と感謝の気持ちで課題の克服」そして「感動の発信」

今年度は以下の事項を重点的に取り組みたいと思います。

1. EMC事業（クラブメンバー倍増計画3年目）
第一例会は卓話にこだわらず、facebook・チラシ・リーフレット等を活用して外に向け発信し、一般の方々に関心や興味を持って、外からのアプローチ

が期待できるアイデアを考えます。(いろいろな方に参加を呼び掛けられるコンサート&食事会など参加型のイベント等)

また、現役リーダーとの交流はもちろん、大学を卒業し社会人となった元リーダー達(OB、OG)が参加できるような例会を開催します。

2. 東日本大震災復興支援活動

東北支援物品販売は、仕入れて右から左への販売に加え、手を加えて(加工)販売することにより、各イベントの食材として使える物として活用し、東日本大震災復興支援活動を継続します。恒例となった東北被災地訪問は、他クラブの参加を積極的に呼び掛けます。(行って食べて応援しよう東北)DBC関係の京都東稜クラブからも多数参加いただいております。仙台青葉城クラブ、もりおかクラブ等東北のワイズとの交流も積極的に行います。

3. YMCAサービス・ユース事業

名古屋YMCA御岳・日和田キャンプ場のワークキャンプ、リーダー研修会への支援と参加を継続的に行うとともに、今年は特に日和田キャンプ場で開催される全国リーダー研修会の食事のサポートを行います。

4. ファンド事業

クラブファンドの構築は、基金的な要素から脱皮してクラブメンバーのタレントとキャリアを生かし、メンバー全員が知識と知恵を出し合って、充実した活動を行いたいと思います。

5. その他

クラブメンバー全員がクラブの名刺を作成する。(統一デザイン)ホストクラブとして中部部会の全面的な支援を図り成功に導く。

かでワイズ活動への実際参加、心的参加を問わず全員参加のクラブ運営を意識していきたいと思えます。



金沢犀川クラブ

会長 平口 哲夫

平和を実現しよう!

Let's be the peacemakers!

マタイによる福音書 5章 10節「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」〈新共同訳〉、「Blessed are the peacemakers, For they shall be called sons of God」〈NKJV〉

「私たちは、すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、すべてのいのちをかがえのないものとして守り育てます。私たちは、一人ひとりの人権を守り、正義と公正を求め、喜びを共にし痛みを分かちあう社会をめざします。私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます。」(日本YMCA同盟基本原則から抜粋)

「ワイズメンズクラブ国際協会は、イエス・キリストの教えに基づき、相互理解と敬愛の思いに結ばれて、あらゆる信仰の人々が共に働く、世界的友好団体であり、YMCAに対する忠誠心を共にしつつ、活発な奉仕活動を通じて、リーダーシップを開発、助長、供給して、全人類の為よりよき世界を築くべく尽力するものである。」(ワイズメンズクラブ国際協会「国際憲法とガイドライン」第2条第1項から抜粋)

日本YMCA同盟基本原則やワイズメンズクラブ国際協会綱領を一口で言い表すならば、「平和を実現する」に尽きるのではないかと思います。そこで今期の会長主題は、基本に立ちかえり「平和を実現しよう!」にすることにいたしました。



津クラブ

会長 亀野 貞

会長主題: ワイズで学び ワイズで奉仕

会長挨拶: 「ワイズで学び ワイズで奉仕」は、私が4年前にワイズに入会した当時の津クラブ会長主題でしたが、私にはずっと新鮮な響きに感じています。本年度の会長主題として再び掲げさせていただきます。

本年の活動として、ワイズメンバーとして必須の基礎知識を諸先輩から吸収しつつ、メンバーひとりひとりが津クラブの重要メンバーであることを意識して奉仕活動、ファンド事業等にあたっていきます。家庭や仕事を大切に、時間や体力面での制約のな

